

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-3

< 第15週 > 風しんの定点当たり報告数は前週と同値で、過去5年間の同時期と比較してかなり多い / その他最新動向



注目すべき感染症
P.4

< 風しん >
風しんの発生状況



病原体情報
P.5-6

患者から分離・検出された病原体報告 - 冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス 2003/04シーズン / インフルエンザウイルス 2003/04シーズン



速報
P.7-8

市内保育施設における風しん流行時の対策について - 大阪府堺市



海外感染症情報
P.9

ボツワナでポリオ患者の報告



感染症の話
P.10-13

< B型肝炎 >
急性B型肝炎は本来、自然治癒する傾向が強い疾患であるが、劇症化への移行の可能性に留意しながら対処する必要がある



読者のコーナー
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(15週)
P.14-20



15週のデータ
P.21-30



発生動向総覧

*「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(11月5日施行)により、対象疾患、分類が一部変更されました(2003年第43号「速報」参照)

第15週コメント 4月15日集計分

全数報告の感染症

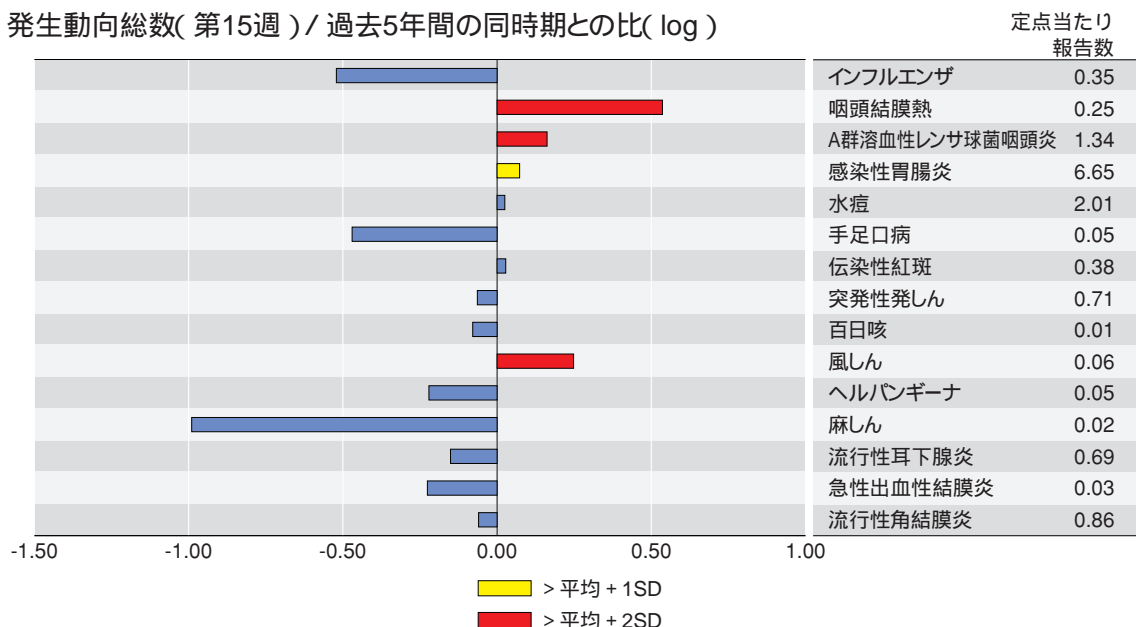
注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が、集計の期日以降に届くこともあります。それらについては、発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。宜しく御理解下さい。

- 1類感染症: 報告なし
 - 2類感染症: コレラ 1例(推定感染地域: インド)
細菌性赤痢 7例(推定感染地域: 国内1例、インド5例、バングラデシュ1例)
腸チフス 3例(推定感染地域: 国内2例、疑似症1例)
パラチフス 2例(推定感染地域: ネパール1例、中国1例)
 - 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 24例(うち有症者19例)
血清型・毒素型: O157 VT α 9例、O157 VT1・VT α 7例、O157 VT1(1例)、O26 VT1・VT α 1例、O26 VT1(1例)、その他(5例)
年齢: 10歳未満(9例)、10代(6例)、20代(3例)、30代(1例)、50代(4例)、60代(1例)
 - 4類感染症: つつが虫病 1例(宮崎県)
デング熱 1例(推定感染地域: インド)
日本紅斑熱 1例(島根県)
マラリア 1例(熱帯熱__推定感染地域: ガーナ)
E型肝炎 1例(推定感染地域: 国内(猪肉の生食))
 - 5類感染症: アメーバ赤痢 7例(推定感染地域: 国内5例、米国1例、インド/ネパール1例)
ウイルス性肝炎 3例(いずれもB型__推定感染経路: いずれも性的接触)
クロイツフェルト・ヤコブ病 1例(孤発性)
後天性免疫不全症候群 8例(無症候7例、AIDS 1例)
推定感染経路: いずれも性的接触(異性間2例、同性間6例)
推定感染地域: 国内7例、不明1例
ジアルジア症 1例(推定感染地域: 不明)
梅毒 7例(早期顕症11期3例、晩期顕症2例、無症候2例)
バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1例(遺伝子型: VanB__菌検出検体: 静脈カテーテル)
急性脳炎 2例(とともに病原体不明)
- (補)他に、ウイルス性肝炎、梅毒、バンコマイシン耐性腸球菌感染症各1例の報告があったが、削除予定。
また、報告遅れとして急性脳炎3例(いずれも病原体不明)の報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

発生動向総数(第15週) / 過去5年間の同時期との比(log)

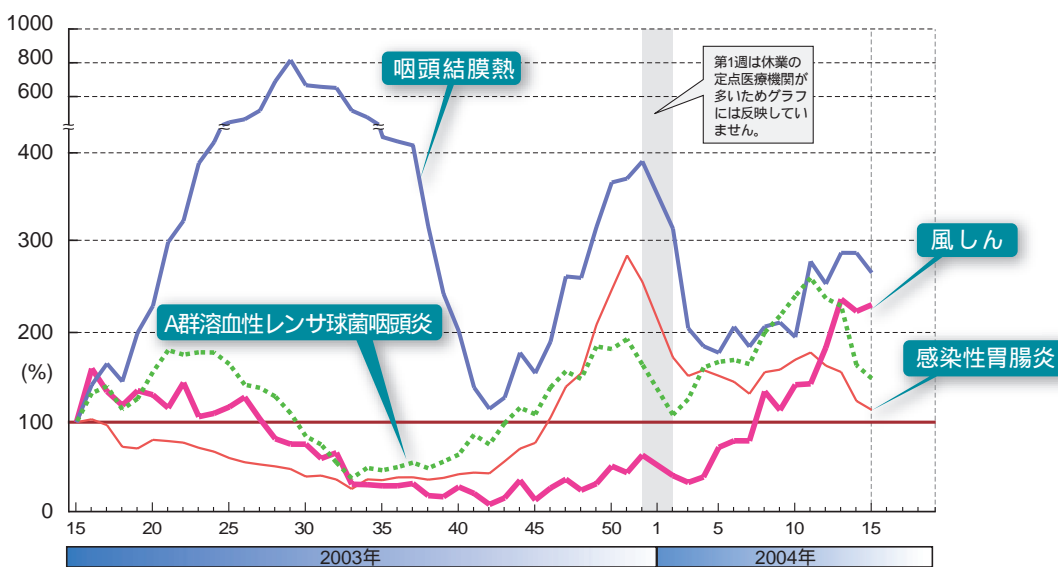


当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

インフルエンザ定点報告疾患：インフルエンザの定点当たり報告数は第5週をピークに減少し、第15週も減少した。都道府県別では長崎県(1.5)、大分県(1.5)が多い。

小児科定点報告疾患：咽頭結膜熱の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多く、都道府県別では宮崎県(1.6)、富山県(0.8)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は、第11週に過去10年間で最高の値となった後減少し、第15週も減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では富山県(4.1)、新潟県(3.4)、宮城県(3.2)、福井県(3.1)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多く、都道府県別では福井県(18.9)、広島県(13.5)、石川県(12.4)、富山県(12.1)が多い。水痘の定点当たり報告数は第2週に過去10年間で最高の値となった後減少し、第5週からはほぼ横ばいで推移している。都道府県別では宮崎県(5.0)、愛媛県(3.8)、鹿児島県(3.8)が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は第9週から緩やかに増加しており、第15週も微増した。都道府県別では新潟県(1.1)、石川県(1.0)が多い。風しんの定点当たり報告数は前週と同値で、過去5年間の同時期と比較してかなり多く、都道府県別では群馬県(0.6)、大分県(0.4)、栃木県(0.3)が多い(「注目すべき感染症」参照)。RSウイルス感染症の報告数は30都道府県から合計62例であった。

主要疾患の過去1年間の週別定点当たり報告数の動き(第15週)





注目すべき感染症

風しん

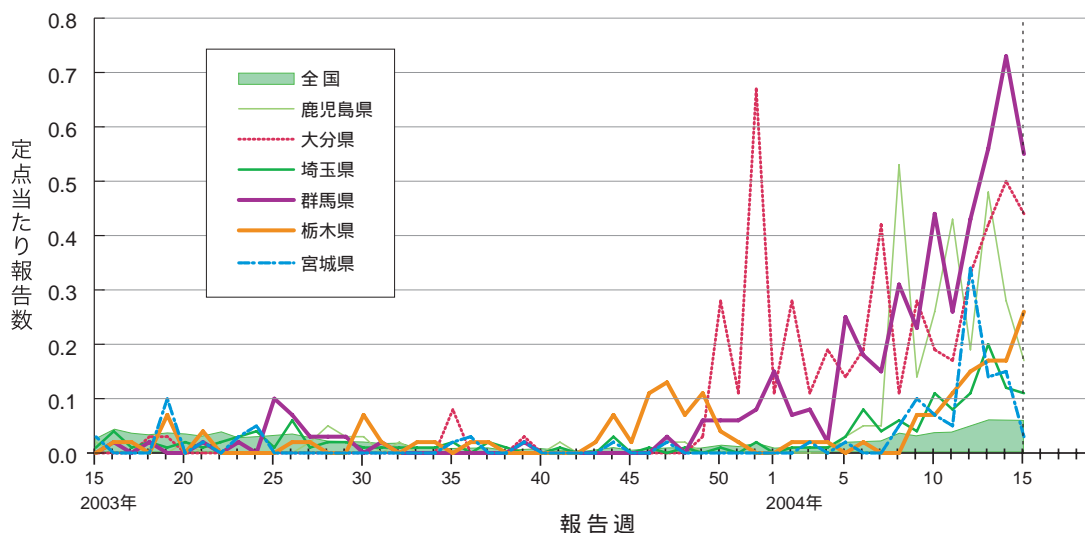
小児科定点医療機関から報告される全国の風しん患者数は、ここ数年かなり少なく推移している。しかしながら、本年の定点当たり報告数を都道府県別にみると、大分県、群馬県、鹿児島県、宮城県、埼玉県などで報告数の増加があり、第15週には群馬県、埼玉県と隣接する栃木県での増加がみられている(図)。

ワクチン未接種で罹ったこともなく、風しんに対する免疫のない妊婦が妊娠初期に感染すると、出生児に先天性風しん症候群(CRS)を起こすことがある。CRSについては、2000 ~ 2003年は各1例の報告であったが、本年は既に2例報告されている。

近年報告されたCRS 6症例の解析から、風しんの大きな流行の時だけでなく、散発症例発生の際の母親の感染によっても発生していると考えられた。風しんはワクチンで予防できる疾患であり、非流行時であっても妊娠可能年齢の女性は、妊娠前に予防接種を受けておくことが必要である。また、罹患を防止するためには流行を抑制することが必要であり、定期接種の対象者だけでなく、経過措置の当時の対象年齢層を中心に、男女ともに免疫のない人々は任意接種を受けることが望まれる。

速報として「市内保育施設における風しん流行時の対策について(大阪府堺市健康福祉局健康部堺市保健所)」があります。

図. 風しんの週別報告数 (2003年第15週 ~ 2004年第15週)





病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2004年4月16日現在報告分)

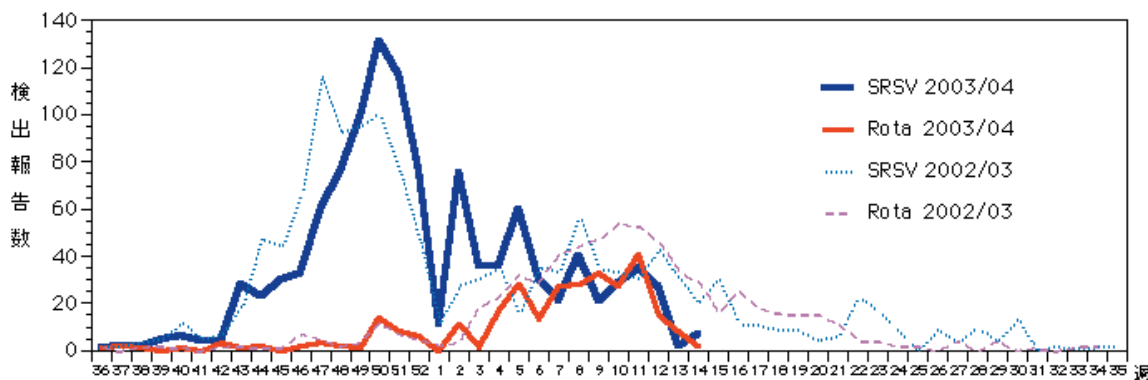
冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス 2003/04シーズン

ロタウイルスは、昨シーズン(2002/03シーズン)と同様に第50週に小さなピーク(14件)を形成した後、2004年第4週から増加している。第10週から第14週までの検出数は27、41、15、8、2である。報告のほとんどはA群で、これまでにA群は28都府県から計287件報告されている。このうち岡山県と大阪府で検出された各1件の血清型はG3であった。地域別では高知県37、愛媛県34、香川県33、大阪府24、東京都20など、四国、近畿地方からの報告が多い。この他に群不明が11件(東京都4、福岡県3、宮城県、三重県、和歌山県、愛媛県各1)報告されている。ほとんどが5歳以下の小児からの検出である。

小型球形ウイルス(SRSV)は、第50週を最大のピーク(131件)として、年明け以降はいくつかピークを示しながら減少している。第10週から第14週までの検出数は29、35、27、2、7で、ロタウイルスとほぼ同じ報告数で推移している。報告のほとんどはノロウイルスgenogroup(G)IIであり、ノロウイルスGIIはこれまでに秋田県86、岡山県79、愛媛県74、岩手県69など、33都府県から計867件報告されている。ノロウイルスGIは16都府県から50件の報告で、秋田県11、山口県8からの報告が多い。サポウイルスの報告は35件で、愛媛県の27件中10件は第50週に幼稚園で起きた集団発生事例からの検出である。この他に、ノロウイルスG不明が155件、電顕のみによる検出が19件報告されている。

週別SRSV&ロタウイルス検出報告数の推移、2002/03、2003/04シーズン

(病原微生物検出情報: 2004年4月16日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を圖に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

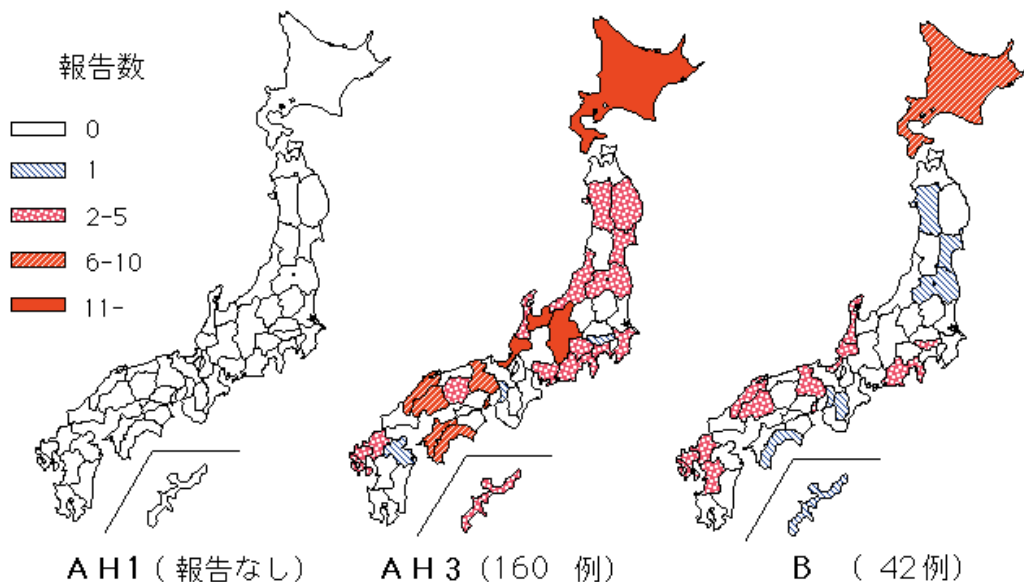
インフルエンザウイルス 2003/04シーズン

AH3型ウイルスの分離・検出報告がほとんどで、全都道府県から計4,277件(PCRのみの検出38件を含む)が報告されている。このうちN型別された343件はすべてN2であった。今シーズンのピークは、昨シーズン(2002/03シーズン)と同時期の第4週(836件)で、第5週以降は減少し、第10週から第14週までの分離・検出数は89、47、16、5、3である。第10週(3月1日 ~)以降、北海道34、福井県12、長野県12、富山県11など28都道府県から分離・検出が報告されている。

B型ウイルスの分離・検出報告は計134件(PCRのみの検出1件を含む)で、新たに東京都から2件の分離報告があり、これまでに全国34都道府県から報告されている。第10週から第14週までの週別分離・検出数は8、14、8、7、5である。第10週(3月1日 ~)以降、北海道9、佐賀県4、石川県3、兵庫県3など19都道府県から分離・検出が報告されている。

AH1型ウイルスの分離報告は計3件で、第49週に分離された長野県の1件(IDWR2003年第51号速報記事参照)と、埼玉県で分離された2件(第49週、第50週各1)の報告である。長野県の1件と埼玉県の2件中1件はN型別され、ともにN1であった。

都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2003/04シーズン(第10週~第14週)
(病原微生物検出情報：2004年4月16日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。



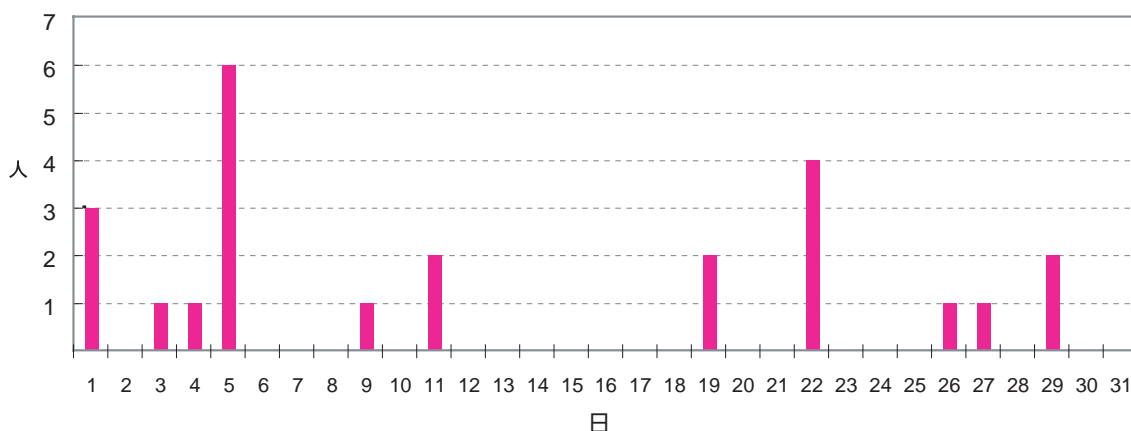
Infectious Agents Surveillance Report



市内保育施設における風しん流行時の対策について - 大阪府堺市

平成16年3月末に、大阪府堺市内の一部の保育施設において風しんが流行しているとの情報が近隣の医療機関よりもたらされた。堺市保健所ではただちに保育課に連絡し、当該施設に対して風しん流行の有無について確認を行ったところ、平成16年2月20日に第1例が発症し、その後3月に入って園児24名の風しん発症者が認められるとの報告があった(図)。また、風しん罹患園児から妊娠後期の妊婦に感染した例もある、との情報も得られた。大阪府立公衆衛生研究所がまとめている大阪全域の感染症発生動向調査によると、堺市での風しんについての定点からの報告数は、第10～13週(3月1日～3月28日)の4週間で10例であり、大阪府の他の地域と比較しても高い値であった。

図. 一保育施設での風しんの発生(平成16年3月)



国立感染症研究所感染症情報センターがまとめた感染症発生動向調査によると、最近の風しん発症者は1歳児が最多であり、5歳以下で全体の60%を占めており(IASR, vol.24, No.3)、乳幼児が中心となっている。そして、堺市内32カ所の公立保育所(平成14年10月1日現在通所児数3,696人)に対する調査では、風しんワクチン接種率は平成14年4月1日現在で43.7%と低く、逆に風しんワクチン未接種であり、かつ風しんの既往のない者の割合は53.5%と高い値となっていた。0歳児からを対象としている保育所では、他の保育所と比べてワクチン接種率が低く、ワクチン未接種・風しん未罹患者の割合が高かった。最近では風しんの流行そのものがなく、風しん感受性者が蓄積されていると言われているが、風しん流行の際には、これらの保育施設が

温床となる可能性が高いと推定された。

保健所では急遽対策会議を開催し、(1)これまで幾度となく経過措置対象者(現在16～25歳)に風しんワクチン接種の啓発が行われてきたが、期待通りの効果は得られなかったこと、(2)風しん罹患の中心は乳幼児を中心とした低年齢児であること、(3)風しんの流行抑制には、これら低年齢児における風しん抗体の保有率を上昇させるべきであること、(4)実際に風しんの流行が発生しつつある乳幼児の集団生活の場である市内保育施設では、特に風しんワクチン接種率が低いと推定されること(平成14年の堺市での3歳児健診受診児に対する調査では、風しんワクチン接種率は82.9%であり、保育所に通所する3歳児のワクチン接種率54.6%よりは高かった)以上の4点より、まず保育所・保育施設通所児に対して迅速に風しんワクチン接種の啓発を行い、ワクチン接種率の上昇を図り、市内の他地域への風しんの流行拡大を阻止すべきであると結論した。

4月20日現在、堺市保健所が堺市医師会と共同して行った今回の風しんの局地的流行に対する対策を順にあげると、ア)《保育課を通じ、市内全ての保育所・保育施設の長および保護者に対する風しんワクチン接種啓發文書を配布》、イ)《教育委員会を通じて、市内全ての幼稚園の長および保護者に対する文書配布と、小学校に対する注意喚起》、ウ)《市内全保健センターにおいて、健診等で来所した保護者に対して風しん流行注意の文書を配布》、エ)《堺市のホームページに風しん注意喚起の文書を掲載》、オ)《医師会を通じて保育施設嘱託医に対して風しんワクチン接種啓発協力依頼文書を配布》、カ)《予防接種委託医に対して協力依頼文書を配布》、以上の6項目である。

また4月16日に、風しんが流行している保育施設に保健所から出向き、これまでの状況を直接スタッフから聞き取り調査するとともに、保護者およびスタッフに対して、風しん、麻疹を中心とした感染症の講演会を開催した。今後は産婦人科医を含めた医師会員全員に対して風しん対策に対する協力を依頼し、また、堺市の広報にも風しんについての注意喚起の文書を掲載する予定である。

我々の目標は、風しんワクチン定期接種対象年齢層におけるワクチン接種率をより上昇させ、それによって風しんの局地的流行を押さえ込み、市内におけるCRS児の出生をなくすることであるが、当該施設では4月15日にも新たな風しん発症者がみられている。これまでのところ、風しん流行が他の施設や周辺地域へ広がっている兆候はないが、流行が局地的なもので終わるかどうかは、予断を許さない。

一方では、風しん流行対策のための風しんワクチン接種啓発が大きく前面に出ることによって、かえって、1歳児における麻疹ワクチン接種率が低下するようなことがあってはならない。しかしながら、麻疹ワクチンを接種すると、1か月間は風しんワクチンを接種できない。風しんワクチン接種率を高く保ち、万が一流行が生じたときにも速やかにワクチン接種勧奨を実行可能とするためには、保護者の時間的負担を軽くし、接種される児の肉体的負担も軽減する方策が求められる。そのためには、安全性を十分に検討したとの前提であるが、MRワクチン(麻しん・風しん混合ワクチン)等の新たなワクチンの開発・導入が望まれるところである。

大阪府堺市健康福祉局健康部堺市保健所
安井良則 藤井史敏 福田雅一



海外感染症情報

* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

ボツワナでポリオ患者の報告

WHO/新聞発表 2004年4月14日

1991年以来ポリオが根絶されていたボツワナで、他国から持ち込まれた1型ポリオウイルスによる麻痺性ポリオ患者1例が報告された。

患者から分離されたウイルスは、ナイジェリア北部で土着感染しているポリオウイルスと遺伝子配列が非常に類似している。この患者、すなわちボツワナ北西部のNgami地域在住の7歳少年は、2004年2月8日に麻痺を呈した。

過去18カ月間に、ナイジェリア北部株に遺伝子配列が類似した野生ポリオウイルスにより、それまでポリオが根絶されていたベニン、ブルキナファソ、カメルーン、中央アフリカ共和国、チャド、コートジボワール、ガーナおよびトーゴの各国で、新たなポリオ患者が発生した。これらの輸入患者はナイジェリアでの広域のポリオ流行に関連しているが、その流行は、2003年8月以来、ナイジェリアの北部各州の一部でポリオワクチン接種キャンペーンが中断されてから起きたものである。2004年3月時点で、Kano州を除くナイジェリア全州で大規模ポリオワクチン接種キャンペーンが再開された。

ボツワナでのポリオ患者発生が強調することは、西および中央アフリカで進行中のポリオ流行により、ポリオ根絶地区への危険が大きくなっていることであり、2002/03年に大部分のポリオ根絶国で予防的ポリオワクチン接種キャンペーンが中止された後、世界的なポリオ感受性人口が増加して、事態の深刻さが増していることである。ポリオがすべての地域から根絶されるまでは、アフリカ在住の小児には、このような輸入例によるポリオ感染の危険性が続く。

ボツワナ政府、WHO、UNICEFおよび協力機関は現在、この輸入例に対する緊急対策を準備している。その中には、全国での疾病サーベイランスの強化、ボツワナ国内の野生ポリオウイルス感染伝播を速やかに停止させることを確実にするための、全国規模のワクチン接種キャンペーンが含まれる。近隣諸国にもこの輸入例の情報が伝えられ、ポリオサーベイランスと定期ワクチン接種の一層の強化が呼びかけられている。

Global Polio Eradication Initiativeの先頭に立っているのは、WHO、国際ロータリークラブ、米国CDC、およびUNICEFである。ポリオは、1988年にGlobal Polio Eradication Initiativeが開始された時点では、流行国が125カ国であったが、現在では6カ国のみである。土着の野生ポリオウイルスが認められる6カ国は、ナイジェリア、インド、パキスタン、ニジェール、アフガニスタン、およびエジプトである。



感染症の話

B型肝炎

B型肝炎の原因ウイルスであるB型肝炎ウイルス(HBV)は、1963年Blumbergらによるオーストラリア抗原の発見が契機となって同定された。発見当初は免疫血清学的手法を用いて研究されてきたが、1970年にHBVの本態であるDane粒子が同定され、さらに1979年ウイルス粒子から、そこに含まれるウイルスゲノムがクローニングされるに至り、HBVは一躍分子生物学の研究対象となり、HBVおよびB型肝炎に関する知見は飛躍的に進展した。世界でのHBV感染者の分布には大きな地域差があり、東南アジアやアフリカでは感染者率が10%を上回る国もあり、大きな保健医療上の課題となっている。しかし最近では、世界的なワクチン接種活動の拡大によって、感染頻度の低下が期待されている。

疫学

HBVの持続感染者は世界中で3億人以上存在し、既感染者は20億人に上ると言われている。持続感染者が人口の8%以上のいわゆる高頻度国は、アジアとアフリカに集中している。これに対し、日本、ヨーロッパ、北米などは感染頻度2%以下の低頻度国である。HBV感染は主に、輸血、不適切な観血的医療行為などによる経皮的感染と、性交渉、分娩時の経粘膜感染によるものであると考えられる。我が国では1972年にHBs抗原検査が導入されて以来、輸血後B型肝炎は減少の一途を辿っているが、1995～1996年、日赤血液センターでの初回献血者集団においてHBs抗原陽性率を求めた結果から、30歳未満では陽性率1%以下であるものの、40代では約1.5%と依然として高い値を示すことが分かっている。また、低年齢層における陽性率は、母子感染防止事業が開始された1986年以降年々減少し、1997年の調査では0.05%と報告されている。米国では、アジア、アフリカ系移民を除いた場合、主な感染経路は成人期の性的接触と経静脈的薬物乱用であるため、10代後半から30代の男性が最も高い陽性率を示している。

HBVの持続感染は出生時または乳幼児期の感染によって成立し、成人期初感染では、消耗性疾患、末期癌などの免疫不全状態を除けば、持続感染化することはまれである。持続感染が成立した場合、大部分は肝機能正常なキャリアとして経過し、その後免疫能が発達するに従い、顕性または不顕性の肝炎を発症する。そのうち85～90%はseroconversionを起こし、最終的に肝機能正常の無症候性キャリアへ移行する。残り10～15%が慢性肝疾患(慢性肝炎、肝硬変、肝細胞癌)へ移行し、肝機能異常を持続する。一過性感染の場合、70～80%は不顕性感染で終わるものの、残りの20～30%のケースでは急性肝炎を発症する。このうち約2%が劇症肝炎を発症し、この場合の致死率は約70%とされている。

病原体

HBVはDNA型の肝炎ウイルスで、ヘパドナウイルス科に分類される。直径約42nmの球状ウイルスで、外被(エンベロープ)とコアの二重構造を有している。表面を被うエンベロープ蛋白がHBs抗原、その内側のコア蛋白がHBc抗原と呼ばれる。コアの中には、不完全二本鎖のHBV DNAやHBV関連DNAポリメラーゼが存在している。HBV DNAは約3,200塩基からなり、HBs抗原、HBc抗原、X蛋白質、DNAポリメラーゼをコードしている。HBVは、HBs抗原のエピ

トープの違いによって4つのサブタイプ(adr、adw、ayw、ayr)に分けられている。近年遺伝子レベルでの分類が行われ、これまでに7種類の遺伝子型(ゲノタイプ)が同定されている。HBe抗原はコア蛋白の一部で可溶性抗原であるが、HBc抗原とは免疫学的に交叉反応は起こさない。

臨床症状

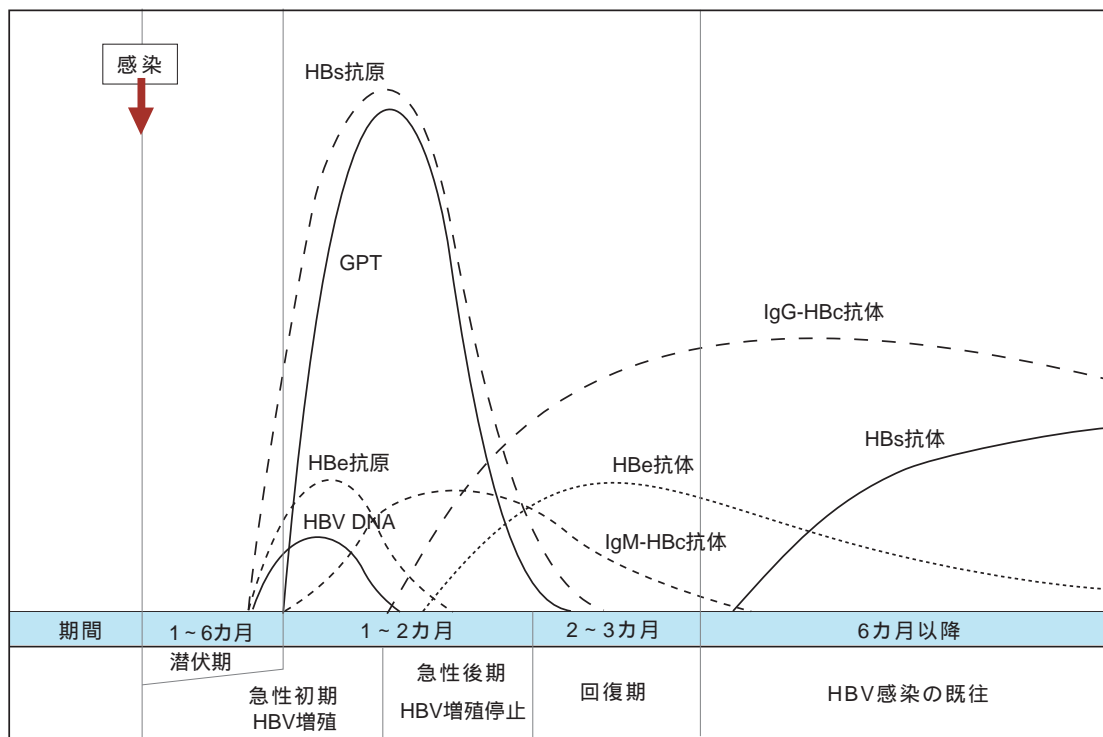
急性B型肝炎は比較的緩徐に発病する。微熱程度の発熱、食欲不振、全身倦怠感、悪心・嘔吐、右季肋部痛、上腹部膨満感などの症状がみられ、引き続き黄疸が認められるようになる。黄疸が出現するのは成人例で30～50%、小児例では10%以下である。重症例を除いて、これらの症状は1カ月程度で回復する。また前述のように、宿主の免疫能に異常がなければ以上の過程でHBVは生体から排除され、キャリア化することはない。しかし、免疫能の不十分な乳幼児、宿主の免疫能が低下した病態、免疫抑制剤の投与を受けている場合などの感染においては、キャリア化へ移行する例が存在する。

病原体診断

B型肝炎のウイルス診断としては、HBs抗原・抗体、HBc抗体、HBe抗原・抗体、HBV DNA検査、およびHBV DNAポリメラーゼ活性の測定が行われている。図に急性B型肝炎における各種ウイルスマーカーの経過と、B型肝炎の基本的な判定基準を示す。HBVの感染状態ではHBs抗原が持続的に産生されており、HBs抗原が陽性であればB型肝炎と診断しうる。HBs抗体はHBVに対する中和抗体と考えられており、HBs抗原が経過とともに減少、消失し、HBs抗体が出現してくる。しかしまれには、HBs抗原の抗原決定領域に変異があるために、HBs抗原が検出されないことがある。また、HBVによる劇症肝炎の場合も、診療が開始された時点では既にHBs抗原が消失していることがある。したがって診断の際には、IgG-HBc・IgM-HBc抗体価を合わせて測定することが望ましい。すなわち、HBs抗原陰性でもIgM-HBc抗体が高力価であればHBVキャリアを疑い、さらにHBV DNAの検出などを行う。IgG-HBc抗体はIgM-HBc抗体に遅れて出現する。HBc抗体は中和抗体でなく、IgG-HBc抗体陽性の場合、現在HBVに感染している場合と、既に治癒している場合の両方の可能性がある。

HBe抗原はHBV増殖時に産生される。一般にHBe抗原陽性の場合、肝内でのウイルス増殖が盛んで血中にウイルスが多量に存在し、感染性も強いと考えられる。一方、HBV遺伝子のコアプロモーター領域やプレコア領域の変異によって、HBe抗原を産生しないウイルスの存在が明らかになっており、B型劇症肝炎例でこのような変異HBVが多く観察されることが報告されている。HBV陽性血清の感染力の評価、HBV感染の自然経過の解析、抗ウイルス薬による治療効果の予測と効果判定などを目的とした詳細な病原体診断には、高感度な遺伝子検査法によるHBV DNAの定量、および塩基配列の解析が必要である。

図. 急性B型肝炎におけるウイルスマーカーの変動とB型肝炎の判定基準



(Medical Practice 13: 1367-1371, 1996)

血清学的判定	HBs抗原	抗HBc抗体	ALT
急性B型肝炎発病時	+	+ (IgM)	
急性B型肝炎軽快時	+	+ (IgM)	
急性B型肝炎回復時	-	+ (IgM)	
慢性B型肝炎	+	+ (IgM)	又は
急性B型肝炎の増悪	+	+	

治療・予防

急性B型肝炎は本来、自然治癒する傾向が強い疾患である。治療上最も大切な点は極期を過ぎたか否かを見極めることであり、劇症化への移行の可能性に留意しながら対処する必要がある。特に、肝予備能を反映するプロトロンビン時間、ヘパラスチンテストなどの凝固系検査は明らかな改善傾向を示すまで測定し、また腹部超音波、CT検査により肝萎縮の程度を把握する。急性B型肝炎の生命予後は、重症化、劇症化しなければきわめて良好である。劇症化した場合には血漿交換、人工肝補助療法、生体肝移植などの治療が必要となる。

HBV感染の予防は感染経路を遮断することであり、輸血用血液および血液製剤のウイルス検査、またはワクチン接種が有効である。B型肝炎ワクチンは我が国では1985年に認可され、翌年からは母子感染防止事業にグロブリン製剤との併用で用いられ、大きな成果をあげている。

また、医療従事者などのハイリスクグループにおいても予防接種が感染防止に有効である。第一世代のワクチンは、HBVキャリアの血漿より精製されたHBs抗原を用いたものであるが、その後、組換えDNA技術を応用してHBs遺伝子を酵母や動物細胞で発現させ製造した第二世代、さらにプレS蛋白をHBs抗原に付加させたワクチンも認可されている。ハイリスクグループにおけるワクチン接種による感染予防法、汚染事故の発生に伴う事後処置法については、「ウイルス肝炎感染対策ガイドライン - 医療機関用 - (1995年改訂第III版、財団法人ウイルス肝炎研究財団作成)を参照されたい。

感染症法における取り扱い

平成15年11月に感染症法が一部改正され、従来の「急性ウイルス性肝炎」は4類感染症の「E型肝炎」、「A型肝炎」、および5類感染症全数把握疾患の「ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)」とに分けられた。急性B型肝炎と診断した医師は7日以内に最寄りの保健所に届け出る。「ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)」の報告のための基準は以下の通りである。

診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、以下のいずれかの方法によって検査所見による診断がなされたもの

1) B型肝炎

- ・血清抗体の検出

例、患者血清中のIgM・HBc抗体が陽性のもの(キャリアの急性増悪例は含まない)

2) C型肝炎

- ・抗原の検出

例、HCV抗体陰性で、HCV・RNAまたはHCVコア抗原が陽性のもの

- ・血清抗体の検出

例、患者ペア血清で、第2あるいは第3世代HCV抗体の明らかな抗体価上昇を認めるもの

3) その他のウイルス性肝炎

HDV、HEVなど上記以外の肝炎ウイルスによる急性肝炎や、その他の非特異的ウイルスによる急性肝炎

病原体検査や血清学的診断によって、ウイルス性肝炎と推定されるもの

(この場合には、病原体の名称についても報告すること)

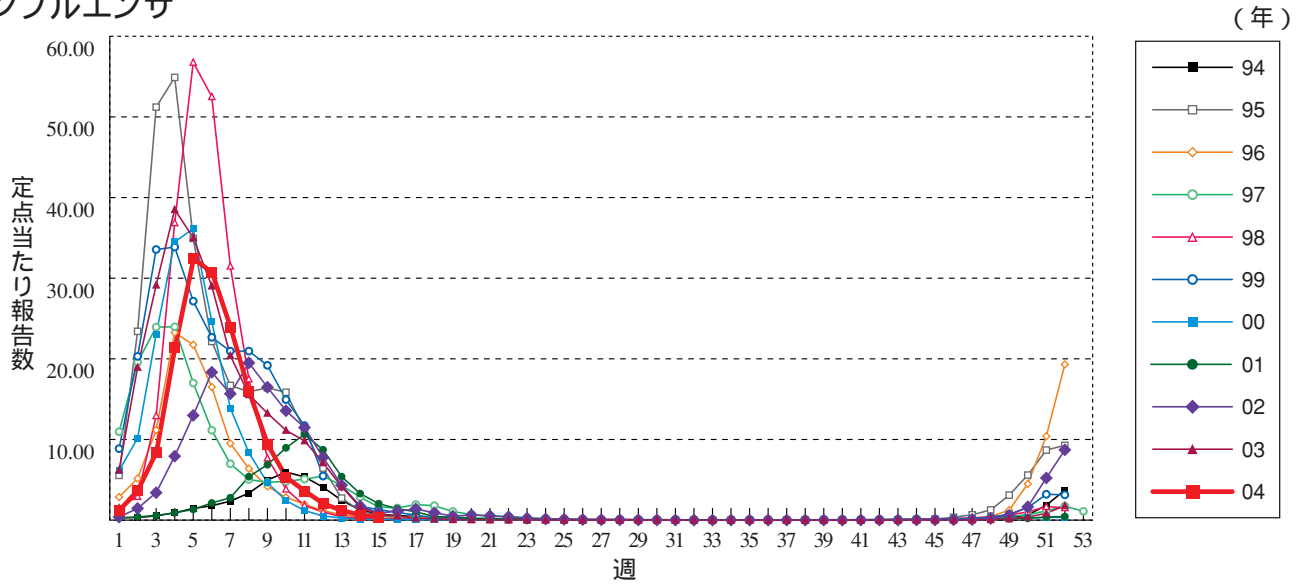
上記のウイルス性肝炎の届出基準を満たすもので、かつ、劇症肝炎となったものについては、報告書の「症状」欄にその旨を記載する。劇症肝炎については、以下の基準を用いる。

- ・肝炎のうち症状発現後8週以内に高度の肝機能障害に基づいて肝性昏睡II度以上の脳症をきたし、プロトロンビン時間40%以下を示すもの。発病後10日以内の脳症の出現は急性型、それ以降の発現は亜急性型とする。

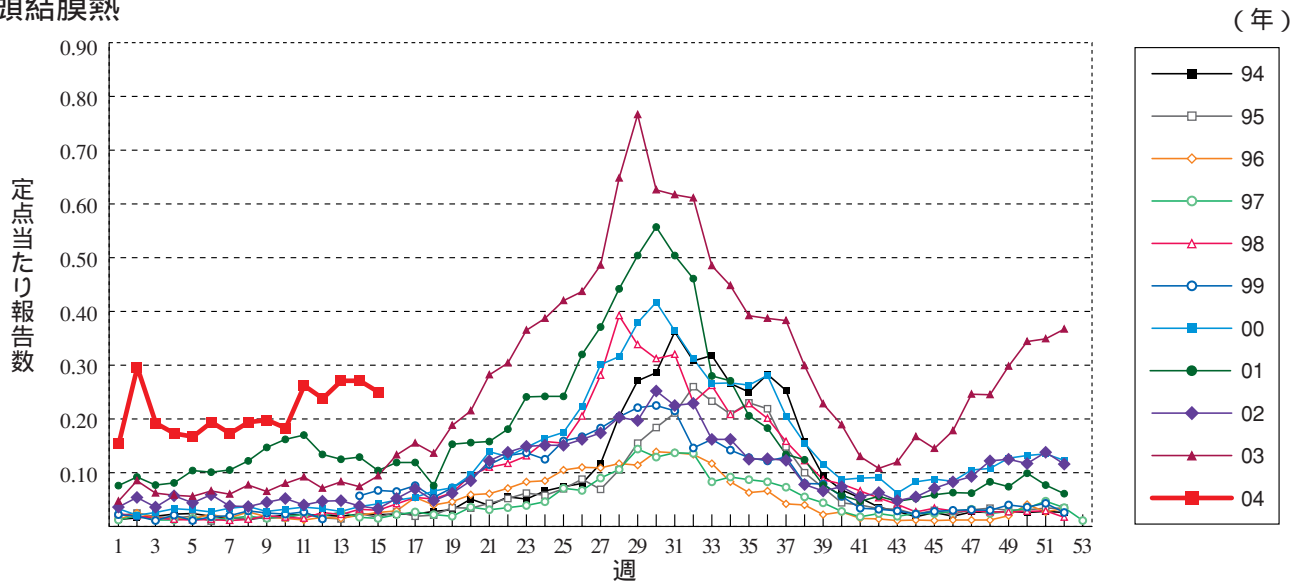
(国立感染症研究所ウイルス第二部 鈴木 哲朗)

グラフ総覧(15週)

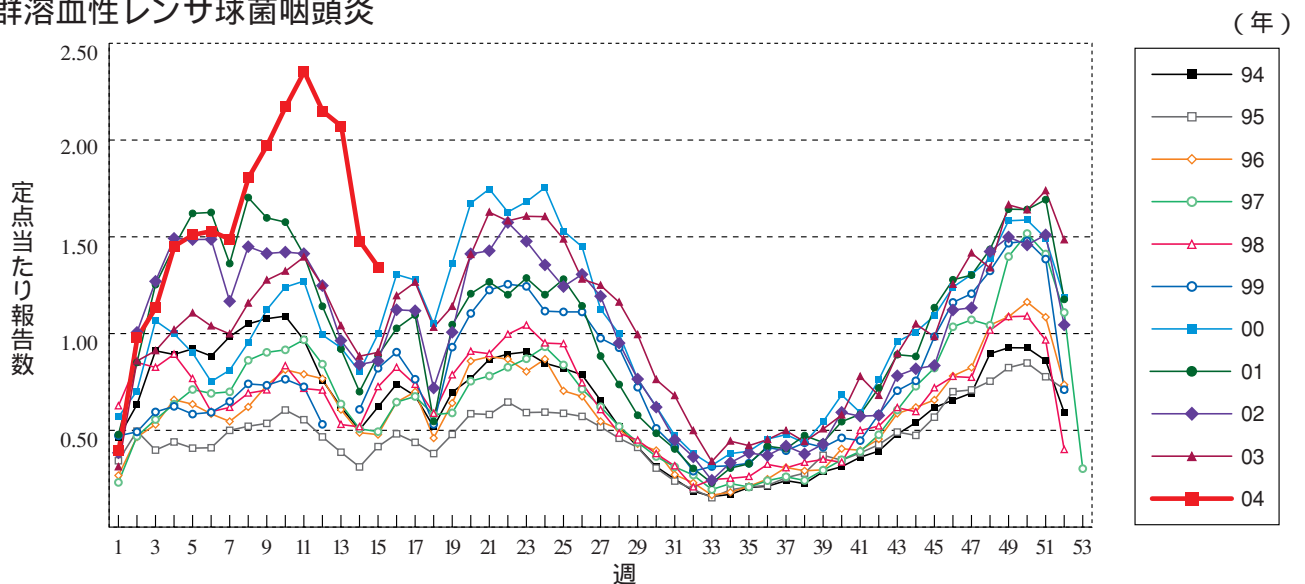
インフルエンザ



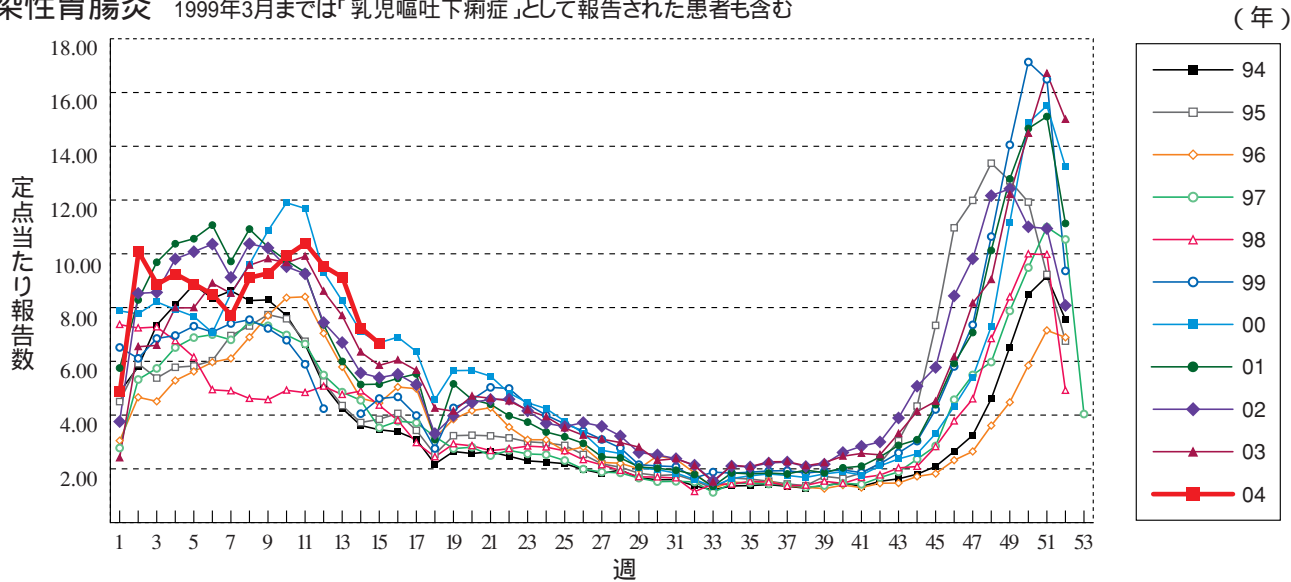
咽頭結膜熱



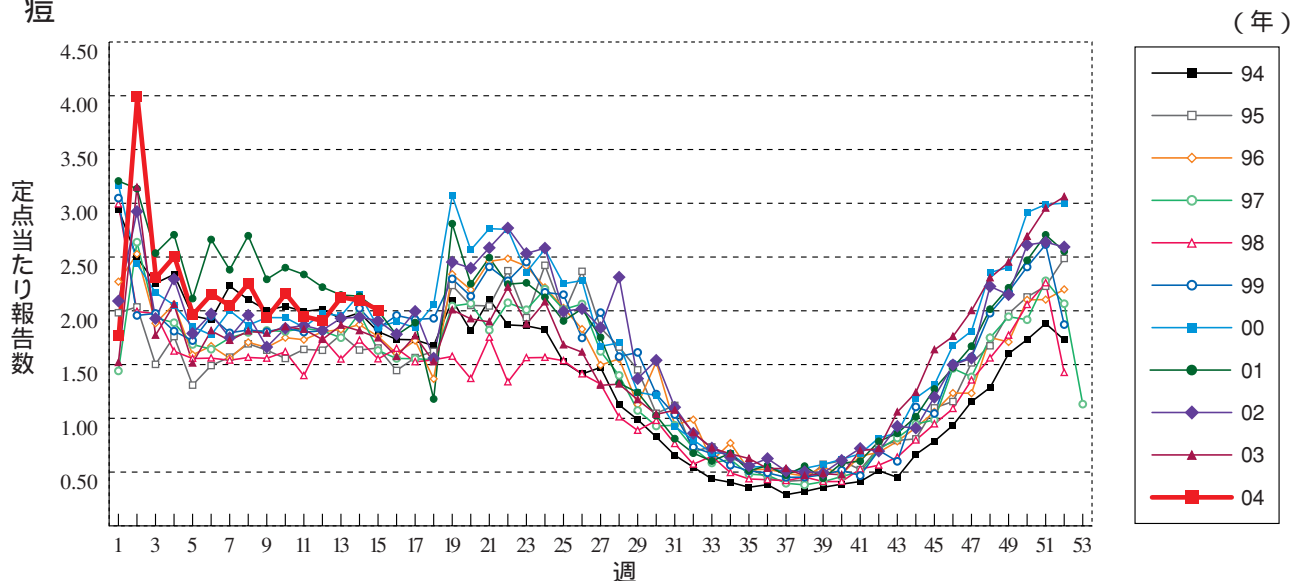
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



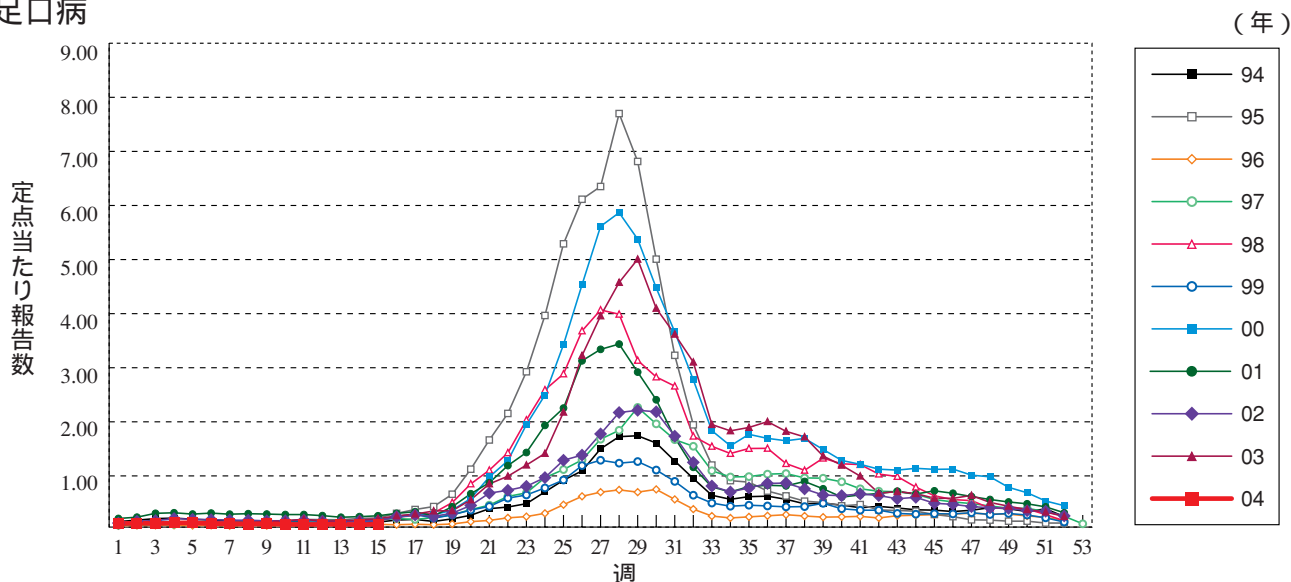
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



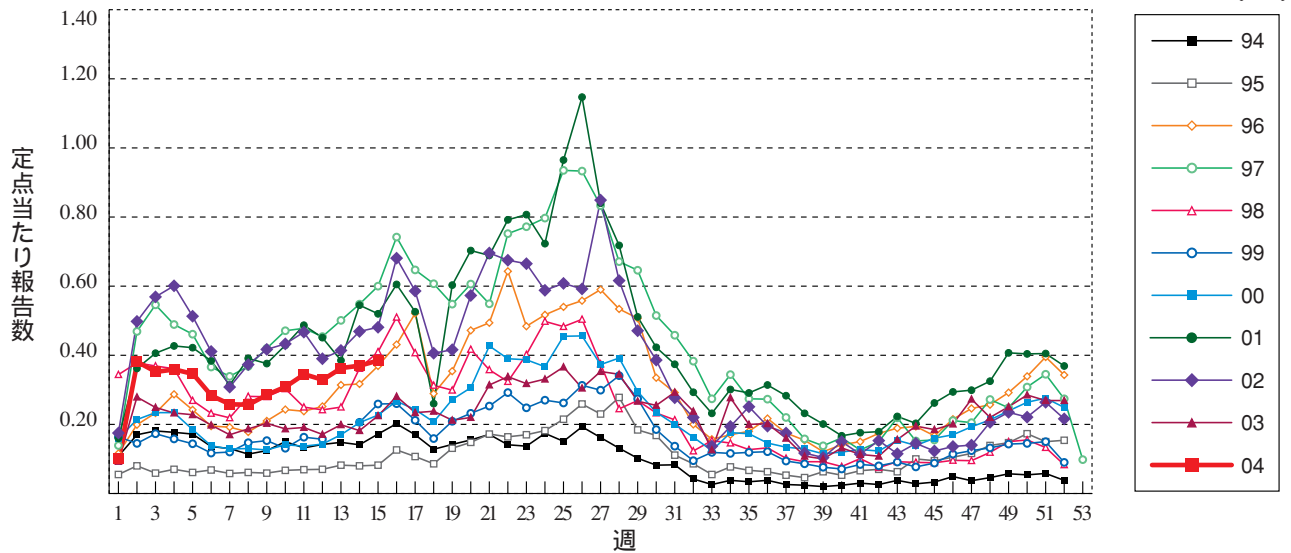
水痘



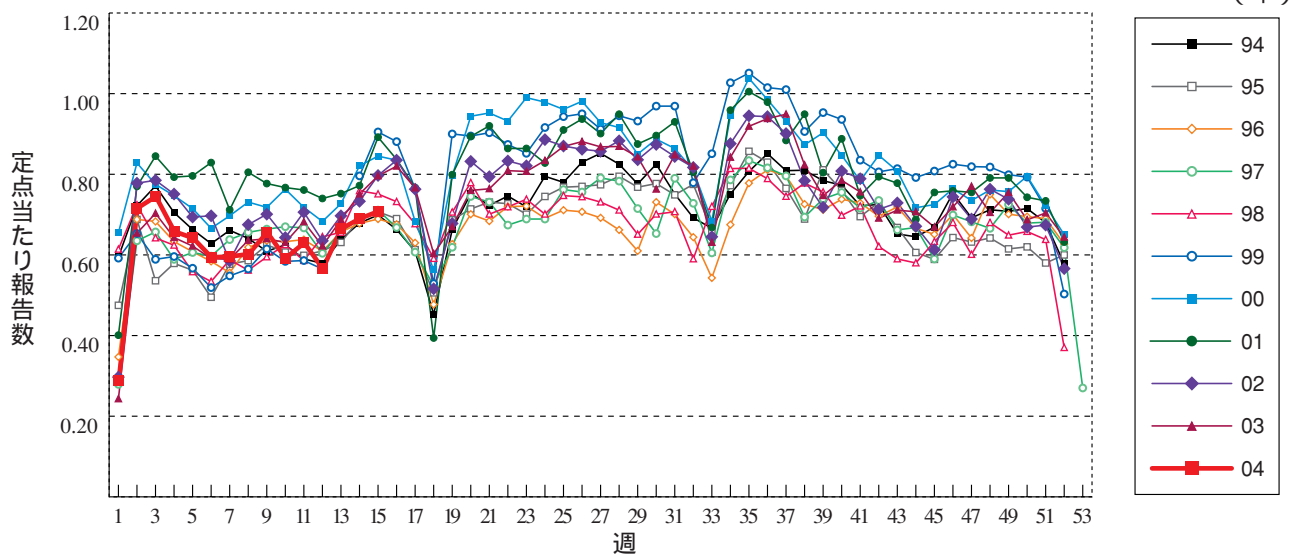
手足口病



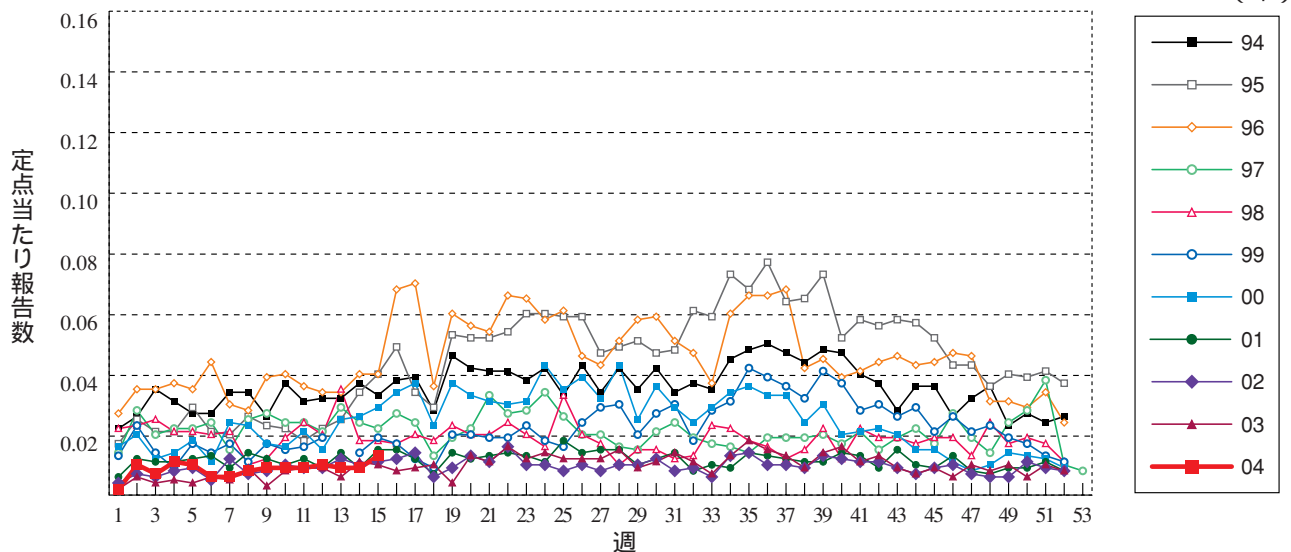
伝染性紅斑



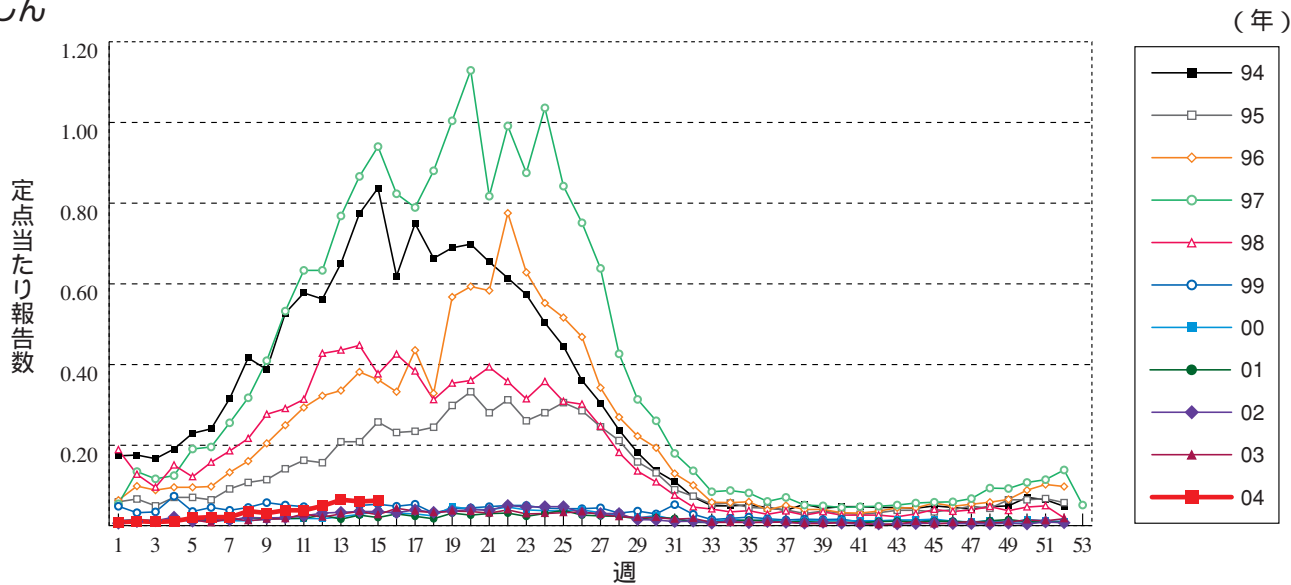
突発性発しん



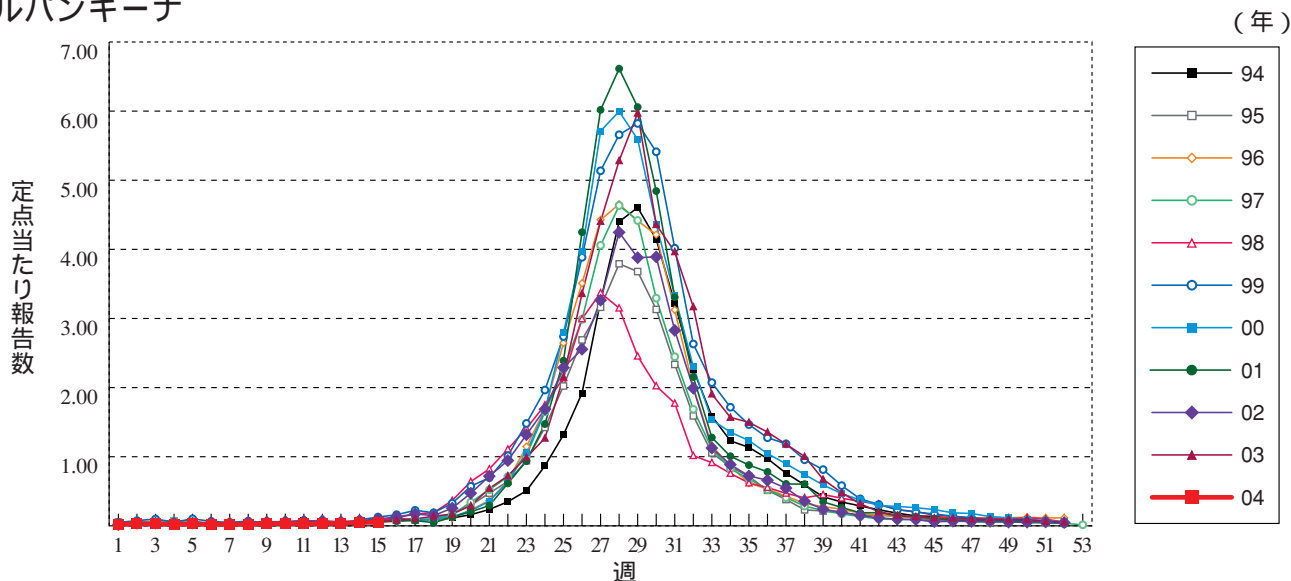
百日咳



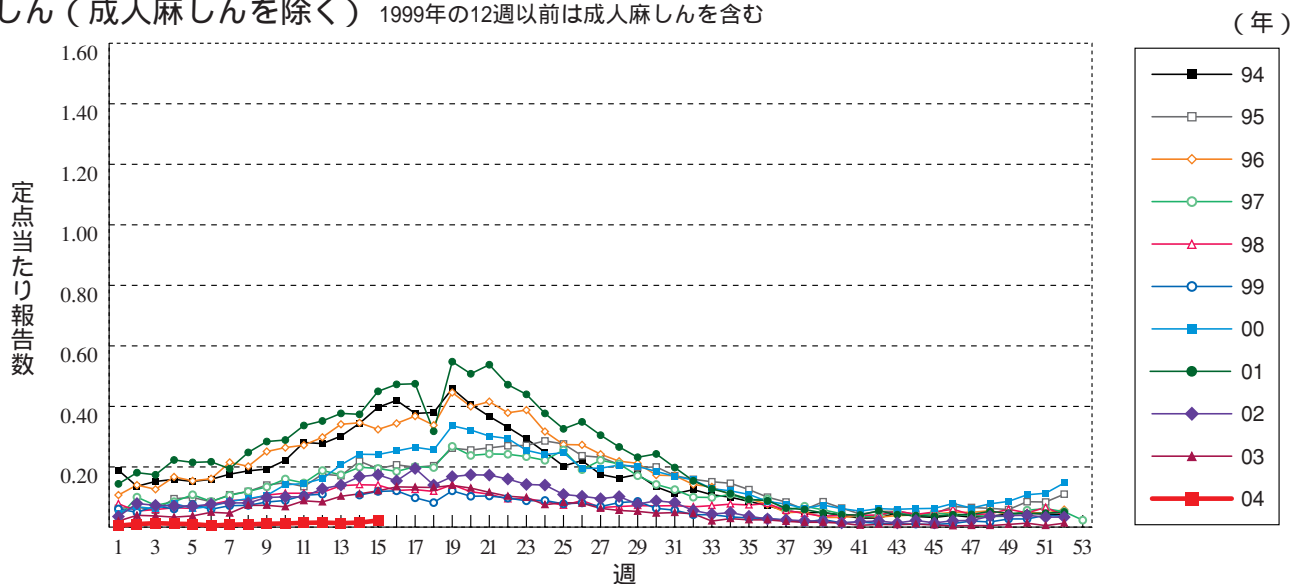
風しん



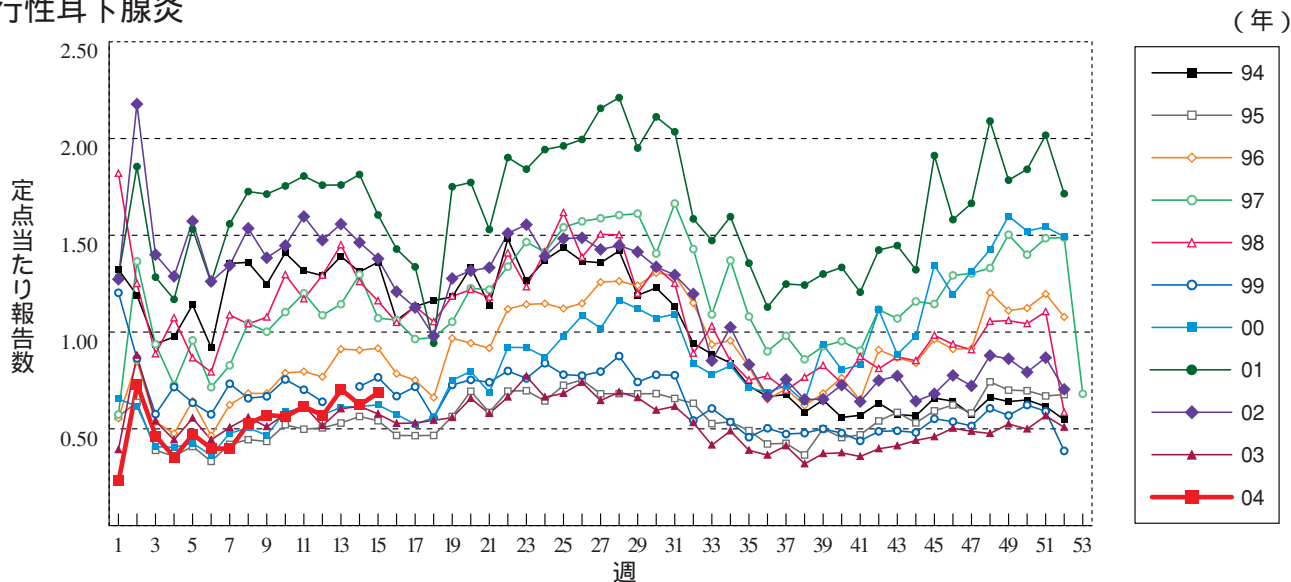
ヘルパンギーナ



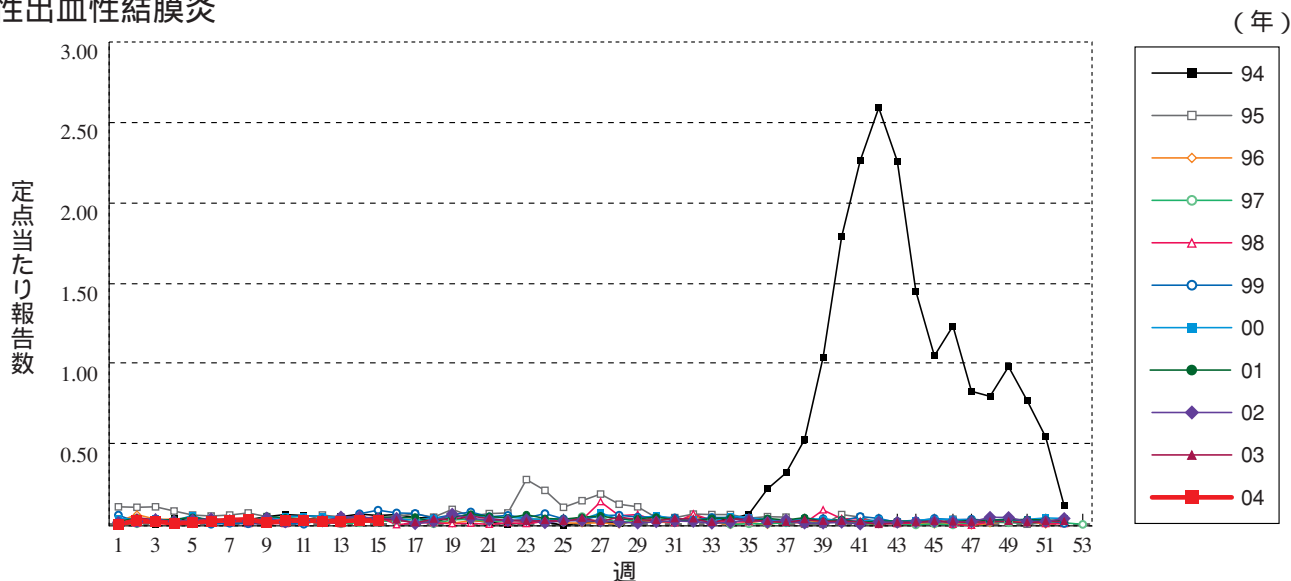
麻疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



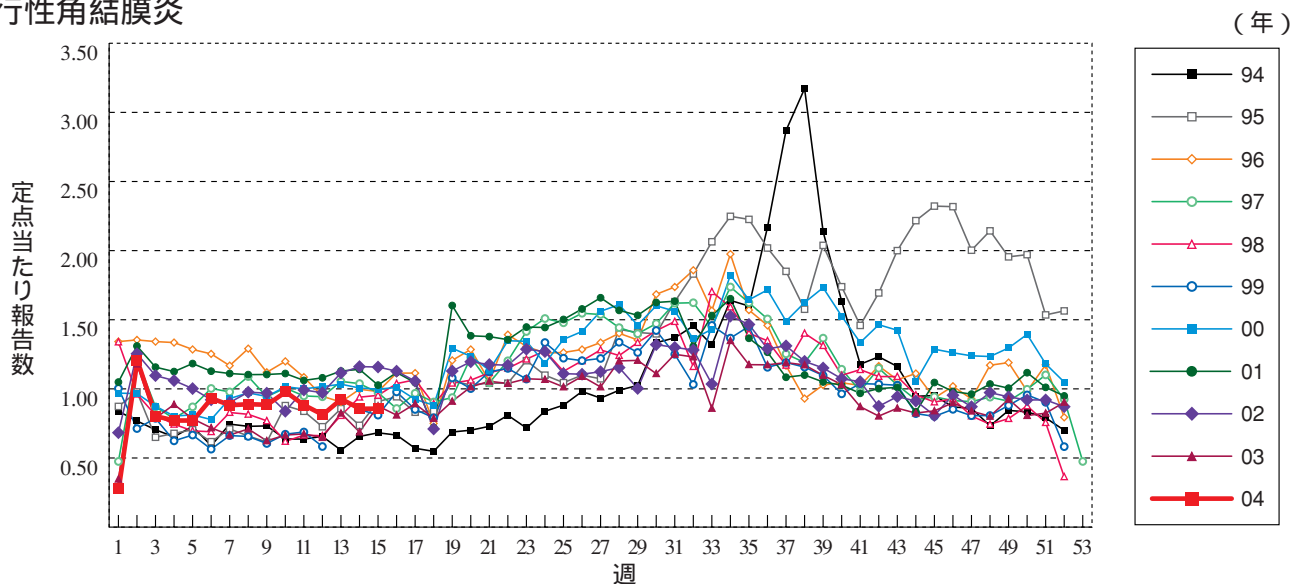
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

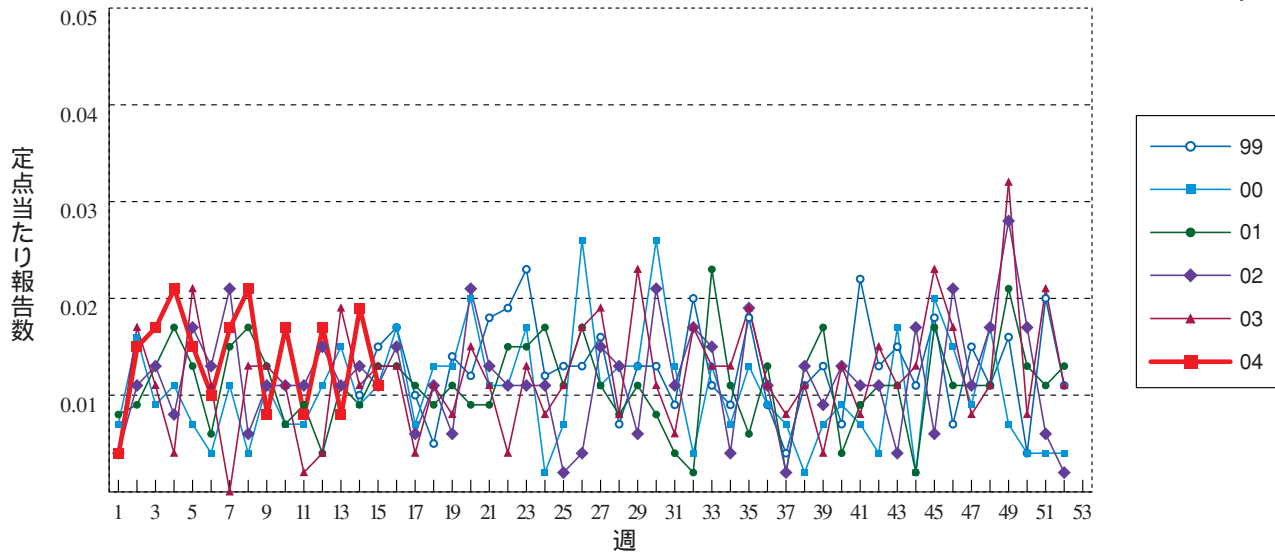


流行性角結膜炎



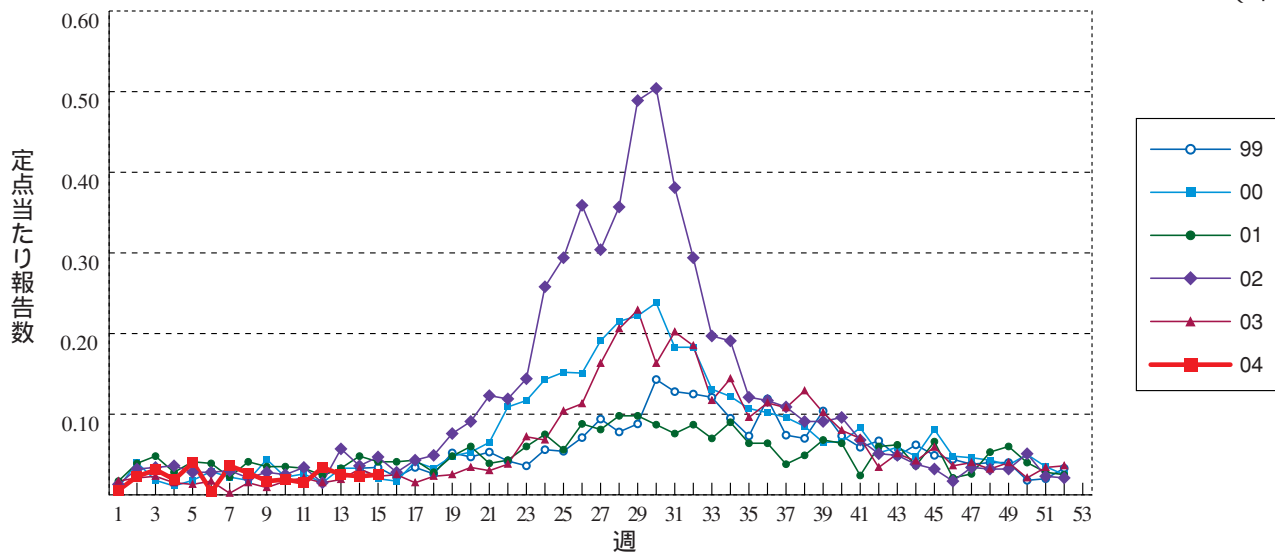
細菌性髄膜炎

(年)



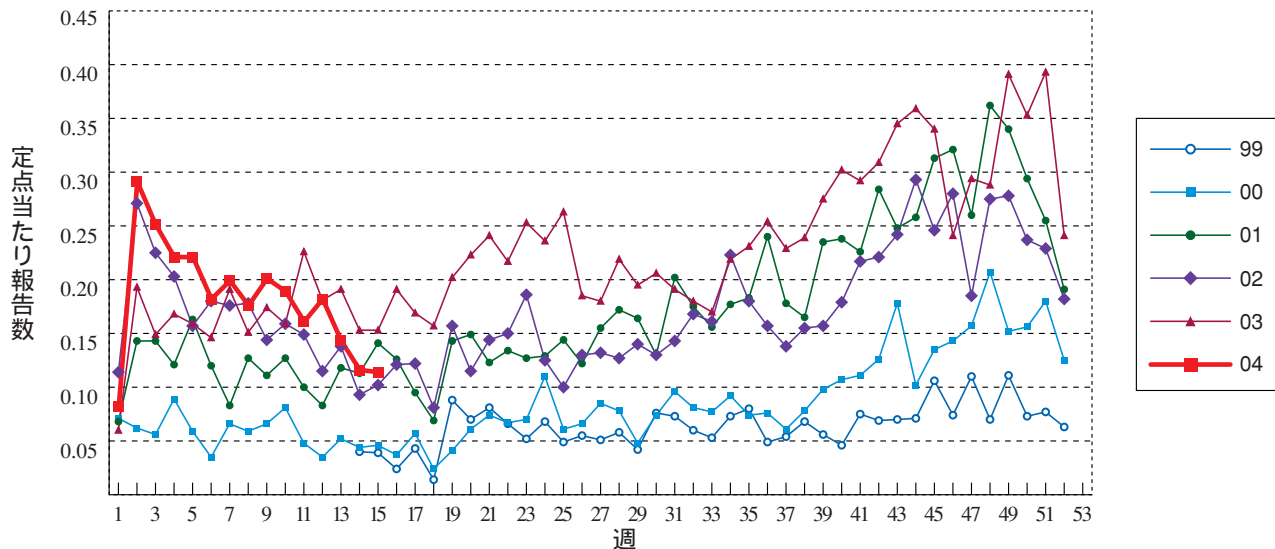
無菌性髄膜炎

(年)



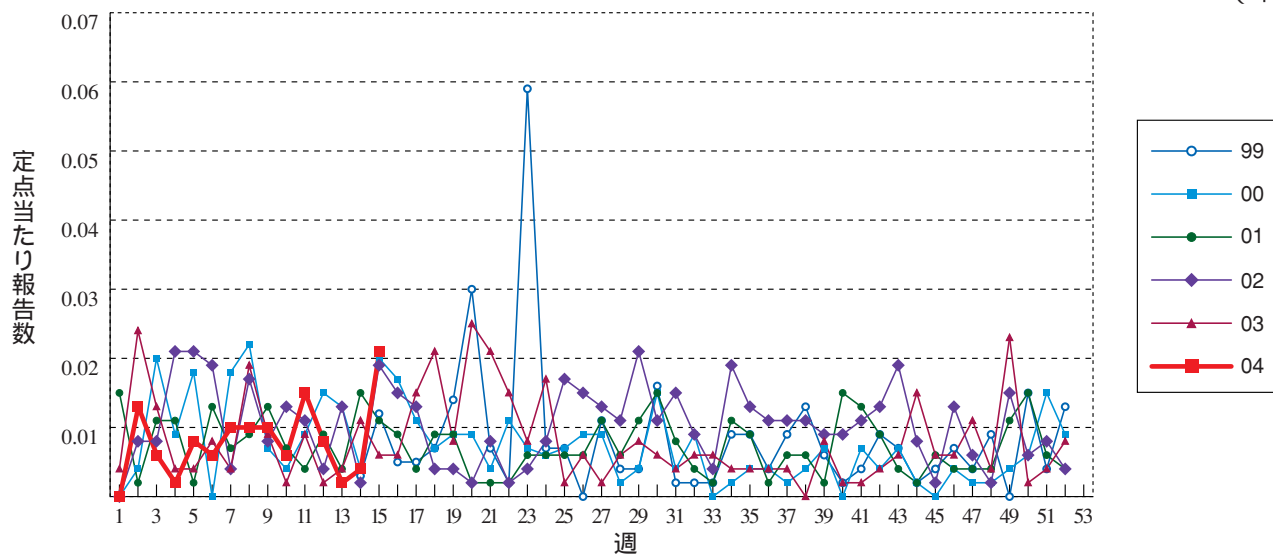
マイコプラズマ肺炎

(年)



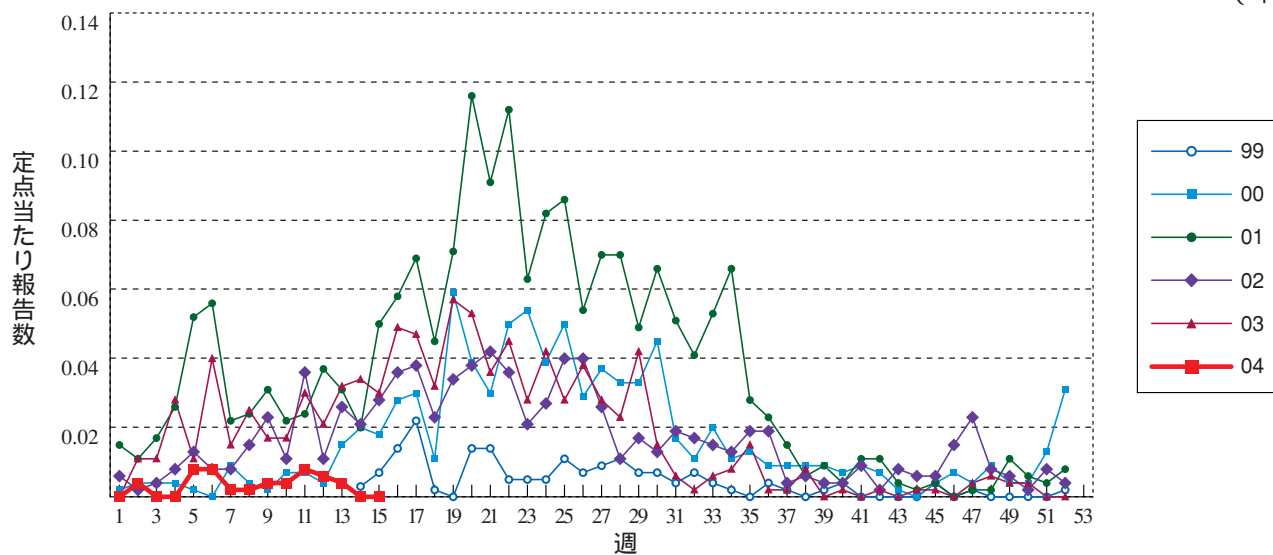
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻しん

(年)





15週のデータ

注)表中の報告数は4月15日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

平成16年15週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	7	101	3	9	2	8
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	29	-	1	-	-	1
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	1	3
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	1	1	1	2
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	13	-	2	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	1	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年15週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	24	134	7	154	-	9	-	-	-	6	-	-	4	66
北海道	-	-	-	-	-	3	-	4	-	9	-	-	-	-	-	-	-	1
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
栃木県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	3	5	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
千葉県	-	-	-	-	1	6	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
東京都	-	-	-	-	1	19	1	39	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
神奈川県	-	-	-	-	-	2	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	1	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
長野県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
静岡県	-	-	-	-	1	2	-	9	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	4	1	10	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2
三重県	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	1	3	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
大阪府	-	-	-	-	5	17	3	15	-	-	-	-	1	-	-	-	1	5
兵庫県	-	-	-	-	-	4	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	2	9
奈良県	-	-	-	-	1	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
広島県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
山口県	-	-	-	-	2	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
徳島県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	-	2	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福岡県	-	-	-	-	1	5	-	8	-	-	-	-	1	-	-	-	-	4
佐賀県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮崎県	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	1	8	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年15週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病		劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性 免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	2	-	-	-	1	1	46	-	14	8	246	-	1	1	18	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	1	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	2	9	-	-	-	1	-	-
東京都	-	-	-	-	-	1	-	1	-	4	6	102	-	-	-	6	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	18	-	1	1	1	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	6	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	15	-	-	-	1	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
京都府	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	28	-	-	-	3	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	6	-	-	-	2	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年15週

	髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風しん 症候群		炭 疽		つつが虫病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		梅 毒		破 傷 風	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	8	-	2	-	-	1	52	1	6	1	1	-	1	8	124	-	12
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1
茨城県	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
東京都	-	2	-	1	-	-	5	-	3	-	-	-	-	-	1	17	-	1
神奈川県	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	3	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
岐阜県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	8	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	2	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	15	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	1	10	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	25	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	1
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年15週

	バンコマイシン 耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス 肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発しんチフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	2	11	-	-	-	-	-	-	-	-	1	16	-	1	-	25
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2
秋田県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	2
神奈川県	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年15週

	重症急性 呼吸器症候群		痘 そ う		E型肝炎		ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)		A型肝炎		高病原性鳥 インフルエンザ		サ ル 痘		ニバウイルス 感染症		ポツリヌス症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	1	7	-	-	-	50	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 平成16年15週

	野 兎 病		リッサウイルス 感染症		レプトスピラ症		急性脳炎		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	1	2	16	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

全数把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日:平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、全数把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

表でみる「重症急性呼吸器症候群」以降の14の疾患は新システムでの追加疾患、および変更疾患(「乳児ボツリヌス症」「ボツリヌス症」「定点疾患「急性脳炎」全数疾患「急性脳炎」)です。「ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)」は平成14年11月に追加された疾患です。

旧システムにおける「ウイルス性肝炎」に含まれていた「E型肝炎」「A型肝炎」が独立した疾患となり、新システムにおける「ウイルス性肝炎」はE型肝炎、A型肝炎を除く肝炎となります。

注)表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・定点当り報告数、疾病・都道府県別

平成16年15週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	1658	0.35	761	0.25	4084	1.34	20240	6.65	6103	2.01	166	0.05	1171	0.38	2155	0.71	40	0.01
北海道	128	0.57	26	0.18	264	1.85	465	3.25	223	1.56	10	0.07	52	0.36	80	0.56	1	0.01
青森県	23	0.36	3	0.07	54	1.29	202	4.81	67	1.60	1	0.02	5	0.12	12	0.29	-	-
岩手県	8	0.13	2	0.05	44	1.16	98	2.58	76	2.00	-	-	16	0.42	20	0.53	1	0.03
宮城県	32	0.35	5	0.08	190	3.22	333	5.64	119	2.02	1	0.02	35	0.59	57	0.97	1	0.02
秋田県	24	0.44	4	0.11	75	2.14	246	7.03	62	1.77	1	0.03	-	-	26	0.74	-	-
山形県	18	0.38	7	0.23	78	2.60	219	7.30	37	1.23	2	0.07	24	0.80	22	0.73	-	-
福島県	27	0.34	21	0.44	59	1.23	367	7.65	63	1.31	1	0.02	11	0.23	38	0.79	-	-
茨城県	6	0.05	14	0.19	161	2.18	272	3.68	144	1.95	3	0.04	7	0.09	29	0.39	-	-
栃木県	5	0.07	3	0.07	48	1.04	224	4.87	77	1.67	1	0.02	5	0.11	21	0.46	-	-
群馬県	18	0.18	7	0.11	82	1.32	234	3.77	84	1.35	1	0.02	33	0.53	35	0.56	3	0.05
埼玉県	16	0.06	35	0.22	314	1.99	1035	6.55	313	1.98	3	0.02	107	0.68	115	0.73	4	0.03
千葉県	11	0.05	38	0.29	250	1.92	791	6.08	354	2.72	11	0.08	91	0.70	101	0.78	1	0.01
東京都	10	0.06	19	0.13	142	1.00	655	4.61	168	1.18	4	0.03	73	0.51	88	0.62	1	0.01
神奈川県	18	0.05	66	0.32	245	1.19	1281	6.22	428	2.08	7	0.03	118	0.57	157	0.76	1	0.00
新潟県	43	0.43	33	0.55	206	3.43	620	10.33	101	1.68	1	0.02	67	1.12	43	0.72	2	0.03
富山県	6	0.13	23	0.79	118	4.07	352	12.14	75	2.59	-	-	11	0.38	17	0.59	-	-
石川県	48	1.00	14	0.48	46	1.59	359	12.38	47	1.62	9	0.31	30	1.03	14	0.48	-	-
福井県	22	0.69	15	0.68	67	3.05	415	18.86	71	3.23	2	0.09	19	0.86	12	0.55	-	-
山梨県	1	0.02	-	-	17	0.68	81	3.24	20	0.80	1	0.04	5	0.20	9	0.36	-	-
長野県	65	0.75	3	0.05	65	1.18	389	7.07	68	1.24	2	0.04	18	0.33	39	0.71	1	0.02
岐阜県	29	0.35	23	0.43	37	0.70	179	3.38	100	1.89	-	-	10	0.19	24	0.45	1	0.02
静岡県	37	0.27	13	0.15	77	0.90	631	7.34	247	2.87	5	0.06	35	0.41	72	0.84	1	0.01
愛知県	109	0.56	64	0.35	163	0.90	844	4.64	306	1.68	15	0.08	76	0.42	138	0.76	3	0.02
三重県	10	0.14	18	0.40	67	1.49	369	8.20	58	1.29	1	0.02	10	0.22	53	1.18	-	-
滋賀県	23	0.45	1	0.03	16	0.48	225	6.82	40	1.21	-	-	9	0.27	16	0.48	-	-
京都府	12	0.10	2	0.03	67	0.88	521	6.86	96	1.26	2	0.03	23	0.30	40	0.53	1	0.01
大阪府	34	0.12	27	0.14	169	0.87	1154	5.92	334	1.71	12	0.06	41	0.21	129	0.66	3	0.02
兵庫県	39	0.20	17	0.13	86	0.67	1091	8.52	283	2.21	20	0.16	44	0.34	104	0.81	8	0.06
奈良県	3	0.05	13	0.37	16	0.46	253	7.23	67	1.91	-	-	10	0.29	13	0.37	-	-
和歌山県	2	0.04	17	0.55	23	0.74	211	6.81	55	1.77	-	-	23	0.74	19	0.61	-	-
鳥取県	16	0.55	8	0.42	51	2.68	218	11.47	29	1.53	-	-	-	-	21	1.11	-	-
島根県	46	1.21	14	0.61	14	0.61	208	9.04	51	2.22	1	0.04	6	0.26	28	1.22	1	0.04
岡山県	3	0.04	11	0.20	33	0.61	423	7.83	109	2.02	1	0.02	10	0.19	27	0.50	-	-
広島県	115	0.96	40	0.53	71	0.95	1011	13.48	111	1.48	1	0.01	27	0.36	66	0.88	1	0.01
山口県	65	0.93	19	0.39	81	1.65	519	10.59	106	2.16	1	0.02	5	0.10	48	0.98	-	-
徳島県	3	0.08	4	0.17	14	0.61	161	7.00	24	1.04	1	0.04	3	0.13	10	0.43	-	-
香川県	15	0.29	4	0.13	24	0.75	166	5.19	100	3.13	-	-	6	0.19	23	0.72	2	0.06
愛媛県	1	0.02	17	0.44	53	1.36	351	9.00	149	3.82	-	-	13	0.33	40	1.03	-	-
高知県	6	0.12	5	0.16	48	1.55	118	3.81	78	2.52	-	-	-	-	13	0.42	-	-
福岡県	198	1.00	11	0.09	217	1.81	1114	9.28	346	2.88	9	0.08	26	0.22	111	0.93	1	0.01
佐賀県	8	0.21	1	0.04	13	0.57	191	8.30	82	3.57	5	0.22	-	-	31	1.35	1	0.04
長崎県	103	1.47	3	0.07	35	0.80	269	6.11	83	1.89	-	-	4	0.09	19	0.43	-	-
熊本県	26	0.32	4	0.08	52	1.06	340	6.94	102	2.08	1	0.02	4	0.08	40	0.82	-	-
大分県	86	1.48	13	0.36	41	1.14	370	10.28	47	1.31	1	0.03	32	0.89	32	0.89	-	-
宮崎県	55	0.93	59	1.64	59	1.64	383	10.64	179	4.97	2	0.06	13	0.36	49	1.36	-	-
鹿児島県	13	0.14	12	0.21	20	0.34	254	4.38	218	3.76	6	0.10	7	0.12	37	0.64	1	0.02
沖縄県	72	1.24	3	0.09	12	0.35	28	0.82	106	3.12	21	0.62	7	0.21	17	0.50	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成16年15週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	189	0.06	147	0.05	67	0.02	2089	0.69	20	0.03	547	0.86	5	0.01	12	0.03	54	0.11
北海道	-	-	-	-	1	0.01	117	0.82	-	-	13	0.45	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	2	0.05	-	-	25	0.60	-	-	1	0.09	-	-	-	-	2	0.33
岩手県	-	-	7	0.18	-	-	15	0.39	-	-	7	0.58	-	-	-	-	2	0.10
宮城県	2	0.03	4	0.07	-	-	25	0.42	-	-	-	-	-	-	3	0.25	2	0.17
秋田県	1	0.03	-	-	-	-	1	0.03	-	-	2	0.29	-	-	-	-	1	0.14
山形県	1	0.03	-	-	-	-	10	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	7	0.70
福島県	10	0.21	2	0.04	5	0.10	29	0.60	-	-	9	0.75	-	-	-	-	1	0.14
茨城県	3	0.04	1	0.01	2	0.03	16	0.22	-	-	30	1.88	-	-	-	-	-	-
栃木県	12	0.26	1	0.02	-	-	7	0.15	1	0.08	14	1.17	-	-	-	-	1	0.14
群馬県	34	0.55	-	-	2	0.03	68	1.10	-	-	29	2.07	-	-	-	-	4	0.40
埼玉県	18	0.11	7	0.04	8	0.05	155	0.98	1	0.03	27	0.73	1	0.11	-	-	1	0.11
千葉県	7	0.05	3	0.02	7	0.05	107	0.82	5	0.15	26	0.76	1	0.08	-	-	-	-
東京都	7	0.05	4	0.03	3	0.02	44	0.31	-	-	18	1.29	1	0.04	1	0.04	5	0.20
神奈川県	16	0.08	2	0.01	5	0.02	125	0.61	1	0.02	41	0.98	-	-	-	-	-	-
新潟県	7	0.12	-	-	4	0.07	83	1.38	-	-	6	0.67	-	-	1	0.08	4	0.33
富山県	-	-	-	-	-	-	16	0.55	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	2	0.07	4	0.14	-	-	3	0.10	-	-	4	0.57	-	-	-	-	1	0.20
福井県	-	-	-	-	-	-	10	0.45	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	2	0.08	-	-	3	0.12	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0.30
長野県	-	-	-	-	-	-	13	0.24	-	-	1	0.09	-	-	-	-	-	-
岐阜県	1	0.02	7	0.13	1	0.02	56	1.06	-	-	8	0.67	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	1	0.01	-	-	92	1.07	-	-	15	0.75	-	-	2	0.20	-	-
愛知県	4	0.02	4	0.02	2	0.01	181	0.99	2	0.06	23	0.66	-	-	-	-	4	0.31
三重県	1	0.02	3	0.07	-	-	17	0.38	-	-	2	0.17	-	-	-	-	2	0.22
滋賀県	-	-	1	0.03	2	0.06	16	0.48	-	-	1	0.14	-	-	1	0.14	-	-
京都府	2	0.03	2	0.03	1	0.01	32	0.42	-	-	7	0.37	-	-	-	-	1	0.14
大阪府	7	0.04	12	0.06	2	0.01	144	0.74	-	-	19	0.39	-	-	-	-	4	0.27
兵庫県	2	0.02	2	0.02	15	0.12	153	1.20	-	-	47	1.34	1	0.08	-	-	-	-
奈良県	-	-	1	0.03	1	0.03	12	0.34	-	-	4	0.44	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	3	0.10	-	-	37	1.19	-	-	2	0.50	-	-	1	0.09	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	1	0.05	-	-	5	1.67	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	4	0.17	-	-	20	0.87	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	5	0.09	-	-	25	0.46	-	-	16	1.33	-	-	-	-	4	0.80
広島県	1	0.01	10	0.13	-	-	28	0.37	-	-	25	1.25	-	-	1	0.05	-	-
山口県	1	0.02	1	0.02	1	0.02	95	1.94	1	0.11	10	1.11	-	-	-	-	1	0.11
徳島県	-	-	-	-	2	0.09	-	-	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	6	0.19	-	-	10	0.31	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	3	0.08	-	-	26	0.67	1	0.14	16	2.29	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	3	0.10	-	-	25	0.81	1	0.33	6	2.00	-	-	1	0.11	1	0.11
福岡県	22	0.18	7	0.06	2	0.02	125	1.04	-	-	19	0.73	-	-	1	0.07	-	-
佐賀県	-	-	4	0.17	-	-	50	2.17	-	-	2	0.50	-	-	-	-	1	0.17
長崎県	-	-	1	0.02	-	-	11	0.25	2	0.25	6	0.75	-	-	-	-	2	0.17
熊本県	-	-	24	0.49	-	-	11	0.22	-	-	12	1.33	-	-	-	-	-	-
大分県	16	0.44	1	0.03	-	-	16	0.44	2	0.40	-	-	1	0.09	-	-	-	-
宮崎県	-	-	2	0.06	-	-	8	0.22	2	0.50	5	1.25	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	10	0.17	1	0.02	-	-	21	0.36	1	0.14	9	1.29	-	-	-	-	-	-
沖縄県	2	0.06	-	-	1	0.03	5	0.15	-	-	57	5.70	-	-	-	-	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成16年15週

	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻しん		RSウイルス 感染症 報告数
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	
総 数	10	0.02	-	-	62
北海道	-	-	-	-	2
青森県	-	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	...
宮城県	3	0.25	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	4
山形県	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	8
茨城県	-	-	-	-	...
栃木県	1	0.14	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	...
埼玉県	-	-	-	-	...
千葉県	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	7
神奈川県	-	-	-	-	9
新潟県	-	-	-	-	...
富山県	-	-	-	-	...
石川県	-	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	-
山梨県	2	0.20	-	-	...
長野県	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	4
静岡県	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	11
三重県	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	...
兵庫県	-	-	-	-	2
奈良県	-	-	-	-	...
和歌山県	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	1
島根県	-	-	-	-	3
岡山県	1	0.20	-	-	...
広島県	-	-	-	-	6
山口県	-	-	-	-	...
徳島県	-	-	-	-	...
香川県	-	-	-	-	...
愛媛県	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-
福岡県	3	0.20	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	...
熊本県	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	...
宮崎県	-	-	-	-	...
鹿児島県	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	...

定点把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日:平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、定点把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

改正により「RSウイルス感染症」が追加されましたが、ゼロ報告も含めて報告自体がなされていない都道府県(…)が多く見られ、その報告はまだ十分ではありません。そのため、「感染症週報」の情報還元としては、報告数のみの掲載とします。宜しく御理解ください。

感染症週報 第6巻 第15号 平成16年4月23日発行
発行: 国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課
厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局: 国立感染症研究所感染症情報センター
〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
TEL: 03-5285-1111
FAX: 03-5285-1129

URL: <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
<国立感染症研究所 感染症情報センター>
<http://www.mhlw.go.jp/>
<厚生労働省>
<http://www.forth.go.jp/>
<旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上に訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。